

展望地リフレッシュ事業の実施内容 ～手順～

事前調査及び事前調整
樹木の伐採
伐採樹木の運搬
伐採樹木のチップ化
チップの散布
落ち葉掻き
維持管理

行政と地元やNPOの協力が不可欠！

事前調査及び事前調整



請負業者(+ 県、ボランティア団体代表)とともに、伐採計画の検討および伐採樹木の調査(樹種、樹高、直径)



伐採樹木の調査結果を基に県民局(+ 地元市)とともに、伐採計画の検討(保安林許可関係)

関係者に事業について広く伝え、協力を仰ぎ、よく調整しておくことが事業成功の鍵である！！
(合意形成)

展望地再生マニュアル(抜粋)

樹木の伐採

安全管理、誤伐採の防止が重要！
目標とする植生を設定し、誘導(右写真)



アカマツ - コバノミツバツツジ群落(広島県火山園地)



アカマツの伐採作業



残す樹木には目印をつけておく(アカマツ、コバノミツバツツジ等)



前

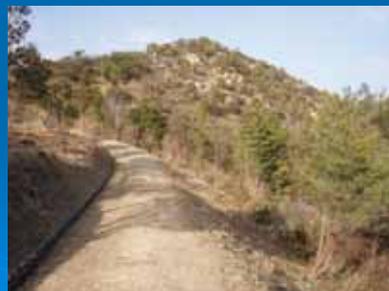


後

展望の改善



園路沿いもすっきり



山陽
H18.11.11

瀬戸内海国立公園内 玉野・天目山展望地

その後の
維持管理でも
NPOが
自主的
積極的に
活動実施



環境NPO

再生新たな魅力を

今年一月、地元住民とともに樹木伐採や除草刈り、遊歩道の再整備を行った。九月には熊鷹の復活した展望地をめぐり市民に親れてもらうと月見会を開催。二つを兼ねた活動もあると知らなかった。多くの人紹介した。参加した専門学校の講師渡邊子さんが「玉野市田井」。

環境NPOは十二月を前に展望地周辺の整備を完了し、且殿山など一体的な整備も視野に入れている。計画は「さつじのふたご」の協賛や、除雪の委託や雑草の除去、市民啓発なども行っている。

環境NPOの代表理事渡邊美子さんは「トイレや水道などの整備も必要。行政への働きかけや地産地消しながら多額の予算を確保していくことが必要だ」と話している。

瀬戸内海の家ゴミ問題と市民・NPOの活躍




漁をしながら海底ゴミの回収・搬送に取り組んでいる若い漁師さん(寄島町漁業者:大室欣久氏)

漁師が引き上げる網にはゴミが半分位
その1/3~1/2は陸上起源と推測
(関係団体アンケート調査結果)

空き缶、タイヤ、建築廃材
プラスチック、家電、漁網、
ドラム缶、ビニール等
(回収調査・写真提供:水島財団)

流域社会を巻込む・広範な取組み努力 循環型社会形成へ

2. 瀬戸内海海ごみ対策検討会

海ごみ(海底ごみ、漂流ごみ、漂着ごみ)

景観や生態系への悪影響や漁業への被害、処理費用の負担などの問題に対し、各主体(各自治体、団体等)により対策が講じられてきた。

しかし、地域ごとの対症的な対策では抜本的な解決にまでは至っていない。

広域性、移動性のある海ごみ問題に対応するために
瀬戸内海のNPO等各主体が連携・協働し、
問題意識を共有して対応する必要がある。

瀬戸内海海ごみ対策検討会の設置(平成18年3月)

瀬戸内海海ごみ対策検討会の構成

瀬戸内海海ごみ対策検討会

実態把握専門部会

発生抑制専門部会(予定)

適正処理専門部会(予定)

磯部先生、藤枝先生、星加先生
クリーンアップ全国事務局、瀬戸協、水島財団

瀬戸内海海ごみの発生抑制及び適正処理の推進を図るため、
関係機関・NPO等が海ごみ問題に関する共通認識を持って、
協働して対策を検討することにより
瀬戸内海環境を維持及び保全することを目的とする。

関係機関・NPO等:

中国四国地方環境事務所、中国地方整備局、四国地方整備局、中国運輸局、四国運輸局、中国四国農政局、第六管区海上保安部、瀬戸内海漁業調整事務所、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、岡山市、倉敷市、広島市、福山市、呉市、下関市、高松市、松山市、岡山県漁連、広島県漁連、山口県漁連、徳島県漁連、香川県漁連、愛媛県漁連、(財)水島地域環境再生財団、(社)瀬戸内海環境保全協会、(財)おかやま環境ネットワーク、瀬戸内の環境を守る連絡会



今後の方向性について1

瀬戸内海国立公園の現状と課題調査 報告書 概要版

平成18年1月
中国経済連合会

5 今後の方向性

区域指定 ・国立公園区域の拡大 例)自然保護のために指定する場所、景観維持のために指定する場所、眺めが良い場所など「景観的」区域の拡大など	情報発信 ・情報発信・PR 例)景観が美しい名産地を特打ちした「景観地とシェラトン」の作成など
利用(眺望) ・眺望を楽しむ場所としての整備 例)眺望を妨げている樹木の伐採や風景などの魅力的な展望場所の整備などによる「眺望を楽しむ場所の確保」など	保護 ・守るべき自然・景観のカルテ作り 例)沿岸域のモニタリング調査などにより、瀬戸内海沿岸の各地区毎に現状と方針をまとめた「カルテ作成」など
整備 ・地区が整備を持って整備 例)各地域の地元団体・人材の活用、地元企業との連携により、地元で管理経路を整備する「地元管理団体認定制度」など	利用(体験) ・体験活動の活用、次世代への継承 例)デジタルカメラなどで実動センターツアーを体験し、地元の小学生の自然学習に活用するなど、エコプログラムの創出の創出など

6 提言項目

～より豊かれ・親しまれる「瀬戸内海国立公園」の実現に向けて～

- 瀬戸内海国立公園の景観維持・活用のための調査について
- 瀬戸内海国立公園の自然環境と景観の保全について
- 瀬戸内海国立公園に誇りと愛着を育てる取り組みについて